

( 所 報 )

1. 第7回運営委員会を2月2日(火)午後1時より、神田四階研究室第1号室で開催。

文部省科学研究費総合研究申請のための準備および検討をおこない、小林良正第3部長を代表研究者とし、「昭和30～36年における日本資本主義の再生産構造とその権力体系」なるテーマで提出することとした。これは、かつて社研内に設けられた「日本資本主義構造研究会」の研究テーマを受けつぎ、さらに発展させようとするものである。

2. 去る1月25日(月)に、山田(盛)所長、内田(義)第1部長、吉沢事務局長の3名が、相馬学長と会い、来年度、社研予算案の説明・提出をおこない、増額を要望した。

< 編 集 後 記 >

1. 年中行事たる学年末試験も始まって、あわただしい毎日を送っているが、ここに2月号をお届けする。
2. 本号には、現状分析に関する力作をいただくことが出来た。石渡氏の高度成長下での「農業危機の実態」の指摘といい、大島氏の「政党支持と政治意識の動向」の分析といい、誰しもが関心を持たされている課題であろう。
3. 前号以後の所員の発表業績はつぎのとおりである。

〔学 術 講 演〕

山田盛太郎「再生産表式と戦後循環の基盤」(1月31日、東京大学経済学会主催土曜講座)

〔論 文〕

長 幸男「瓦解した“財界立直し”<昭和史の瞬間>(7)」(「朝日ジャーナル」2月14日号)

(事務局・加藤(幸)、加藤(佑)記)

東京都千代田区神田神保町 3 の 8

専修大学社会科学研究所 電話 ( 2 6 2 ) 3 6 7 1 ~ 5

( 発行者 ) 山 田 盛 太 郎